

TIRI NEWS ウェブサイトのご紹介

TIRI NEWS ウェブサイトは、都産技研の事業内容や研究成果を紹介する記事を毎月更新しています。
設備紹介記事は、都産技研が保有している装置の特長や活用事例などを紹介しています。ぜひご覧ください。



[https://
www.iri-tokyo.jp/
site/tiri-news/](https://www.iri-tokyo.jp/site/tiri-news/)

TIRI NEWS
ウェブサイトはこちら



小型モーター試験装置

依 機



モーターの性能測定に活用できる装置です。モーターに実負荷を与え、モーターの機械的出力であるトルク[N・m]および回転速度[r/min]を測定します。さらに、電気的入力である電圧[V]、電流[A]、電力[W]を電力計で測定し、モーターの効率[%]を自動的に計算します。5種類のトルク測定器の中から、適切な測定器を選択できます。

電気技術グループ TEL 03-5530-2560

紫外可視近赤外分光光度計

機



240 nmから2600 nm（紫外領域から近赤外領域）の透過率・吸光度・反射率を測定できる装置です。主に、板ガラスの透過率・反射率や塗膜の日射反射率、建築窓ガラス用フィルム透過率、反射・透過による測色、繊維の紫外線遮蔽率（UPF）などの測定に用いられるほか、光透過の膜厚測定、全反射・拡散反射の測定も可能です。

城東支所 TEL 03-5680-4632

メタルハライドランプ式 促進耐候性試験機

KEIRIN
00 依



屋内外で材料が劣化する因子となる光などを試験機内で人工的に再現し、製品の長期耐久性を短期間で評価できる装置です。樹脂材料、木材、塗装品や印刷物など、さまざまな材料での試験が可能です。有効試験面積が大きいので、大型の試験品（厚みは最大で40 mm、重量5kgまで）にも対応可能です。

プロセス技術グループ TEL 03-5530-2630

恒温槽付き疲労試験機

KEIRIN
00 依



高温・低温環境下における疲労試験を実施し、繊維強化複合材料などの評価に活用できる装置です。引張・圧縮負荷、ねじり負荷、およびこれらの組み合わせ負荷が可能であり、疲労破壊に至るまでの繰り返し数のほか、指定した繰り返し数に達した際の荷重やストローク、トルク、角度、および温度を出力できます。

複合素材技術グループ TEL 042-500-1290

※「メタルハライドランプ式促進耐候性試験機」と「恒温槽付き疲労試験機」は、公益財団法人JKA 補助事業による補助を受けて設備導入しています。

依頼試験

お客さまの製品やサンプル、材料などをお預かりして試験を行います。試験結果に基づき、品質証明や事故原因などについて技術的なアドバイスを行います。

機器利用

試験機器をお客さま自身で操作していただけます。製品や材料などの試作、測定、分析にお役立てください。ご要望に応じて、機器の使用法や試験データの読み方についてご説明いたします。